

2005年(平成17年)10月6日 木曜日

12

# リーダー / 私の夢

キャリオ技研社長

富田 茂氏



5、38歳  
名古屋市中村区、0  
52・454・049

## 企業ブランドを高める

当社は3次元CADを駆使して、自動車部品や航空機部品などを設計開発する3次元デジタルエンジニアリング事業を中心、技術系アウトソーシング事業なども手がけているベンチャー企業。当面の夢は、社会に認知された企業になることだ。

今は、一部の人には、か知らないが、これからモノづくりに不可欠となる3次元デジタルエンジニアリングの事業として知名度を

高め、存在感を示したい。そのためには、まず取引先に信頼されることが重要。どんな仕事を丁寧に取り組み、その結果、「キャリオに任せれば安心」という評価を得て、頼られる存在になりたい。そうすれば、黙つてもうしても仕事量や取引先の拡大につながる。これが活動の基本スタンスだ。

またその一方で、知名度向上を目指し、テレビコマーシャルを活用した公知活動も展開していく。どんな効果が表れるか、今後の楽しみだ。

こうした取り組みを通じて、当社の企業ブランドを高め、社員が社員であることを誇れるようになりたい。企業ブランドが高いければ、会社にも、仕事にも、自分自身にも誇りを持てるようになる。

## 子供に選ばれる会社に

そして究極の夢は、私が社員の子供たちが「僕たちも入社したい」と思ってくれる会社に成長させること。観察眼が鋭く、親の生業様を見近に見て、いる子供たちに選ばれるようになれば、自分たちの歴史として良い足跡を残すことができるものと喜んでいい。

今、日本の製造業は海外にどんどん進出している。将来は、パソコンの画面を見ながら世界中の工場をコントロールする時代がやってくる。その時が飛躍の時。モノづくりのノウハウを確実に伝達するツールとして当社が持つさまざまな技術が生かせるからだ。その時までに、社員の自由な発想やアイデアを具現化する制度なども活用して、夢を実現させる強い力をはぐくむつもりだ。